

## あいさつ

豊田市矢作川研究所 会長

鈴木 公 平 (豊田市助役)

豊田市では、10年ほど前から「水と緑を生かしたまちづくり」を標榜し、様々な模索を続けてまいりました。その根底には、日常生活に身近な豊かな自然環境こそ、子供たちがたくましく個性豊かに育つうえで不可欠の基盤であり、高齢者にとっては心の安らぎが得られる景観であるとの思いがあります。そして、自然との豊かな共生関係の実現は、新しい時代の都市の魅力そのものになるという認識もあります。

豊田市矢作川研究所は、民間からのご提案を受け、枝下用土地改良区、矢作川漁業協同組合、豊田市の3者によって平成6年7月に設立されました。その設立目的は、建設省の指導のもとで、平成3年2月から4年の歳月をかけて豊田市が策定した「豊田市矢作川環境整備計画」を効果的に推進するための学術的調査研究を行うことです。

爾来、矢作川に象徴される豊かな自然を愛する市民の皆様の声に励まされながら、建設省ならびに愛知県ご当局のご指導、ならびに共同研究員や地元の調査会など多数の皆様との絶大なご協力により、自然科学から人文科学まで、矢作川に関わる多面的な調査研究を少しずつ進めていくことができました。その成果をとりまとめて、ここに「矢作川研究第2号」が発刊できました。これも偏に関係の皆様のご尽力の賜物であり、衷心より御礼申し上げます。

当研究所は、豊田市の河川等の整備方針を受け、施工に先立つ自然生態調査を十分に行うと共に必要に応じて市当局に提言をし、また施工後の調査も継続して行い、それらに伴う科学的な調査結果を所報発刊あるいはシンポジウムの開催等を通じて公表しています。

このように、実際の整備を伴う現場中心の自然生態調査と、その結果の公表は市民にわかりやすく関心も高まってきています。

今後とも、身近で豊かな自然との共生という基本テーマをふまえ、地道な活動を進めてまいります。しかし、「矢作川（河川）」は流域の自然生態系の豊かさや健全性を示す指標とも言えます。きれいな水質、豊富な水量の保全こそ、究極において私たちが目指す矢作川です。そのために、微力ではありますが様々な取組みを進めてまいりますので、よろしくご指導ご協力賜りますようお願い申し上げます。